



経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科スポーツ・ホスピタリティ・コース

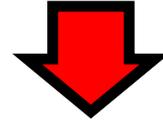
母親のスポーツ実施率向上を目指して ～保育園の休園日を活用した新規事業の提案～

亜細亜大学 石黒ゼミ A

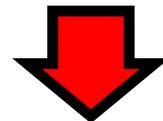
○西山 大輝 市川 彩花 小笠原 愛海 佐藤 碩哉 横濱 美香

2018年10月27日28日

背景（社会的・女性とスポーツ）

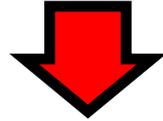


研究方法・結果及び考察

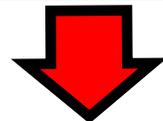


提言・まとめ

背景（社会的・女性とスポーツ）

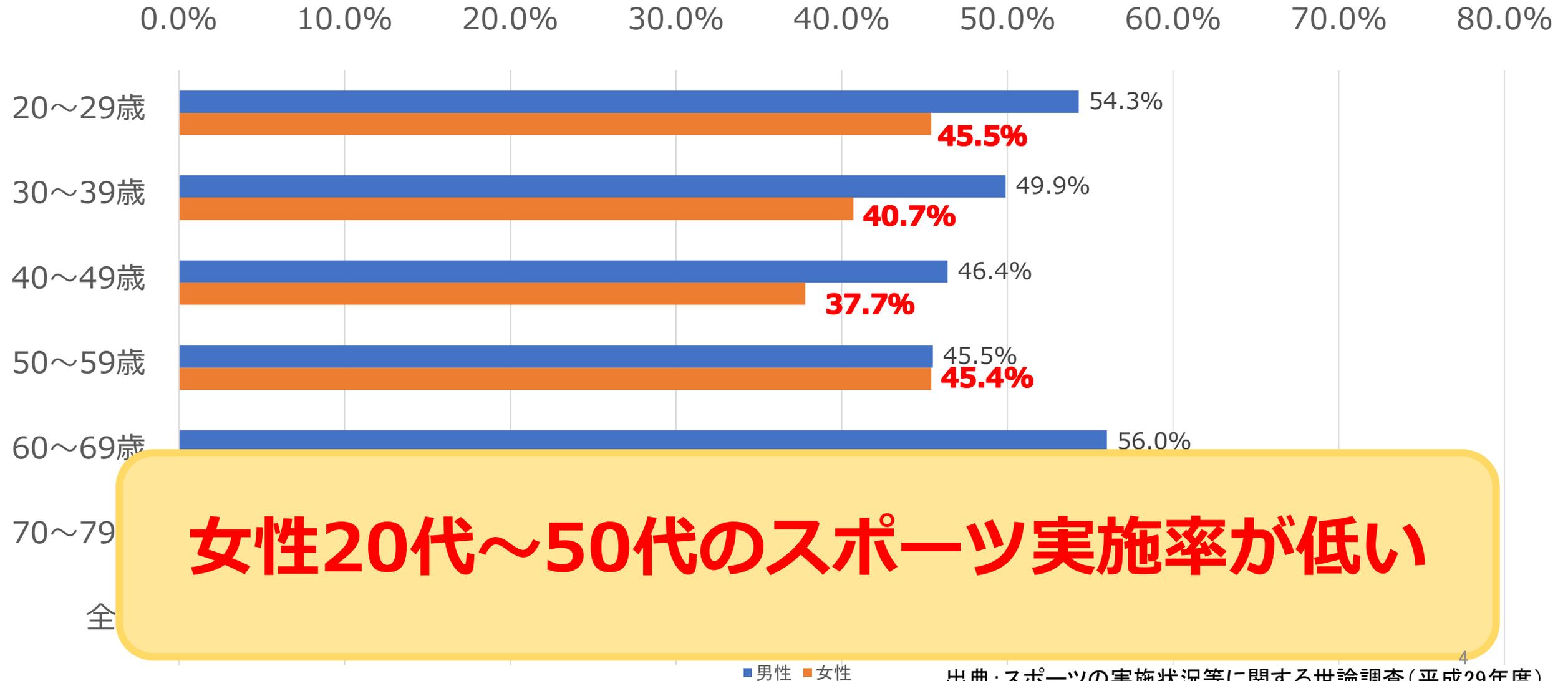


研究方法・結果及び考察



提言・まとめ

世代別週1回以上のスポーツ実施率



女性20代～50代のスポーツ実施率が低い

背景

第2期スポーツ基本計画

スポーツ実施率の 向上

国民の誰もが
それぞれの
年代や関心、
適正等に応じて
日常的に
スポーツに親しむ
機会を充実する。

ビジネスパーソン・ 無関心層への アプローチ

ビジネスパーソン、
女性、障害者やこれ
までスポーツに
関わってこなかった
人が**気軽にスポーツ**
を親しめるような
スポーツの
スタイルを
提案する。

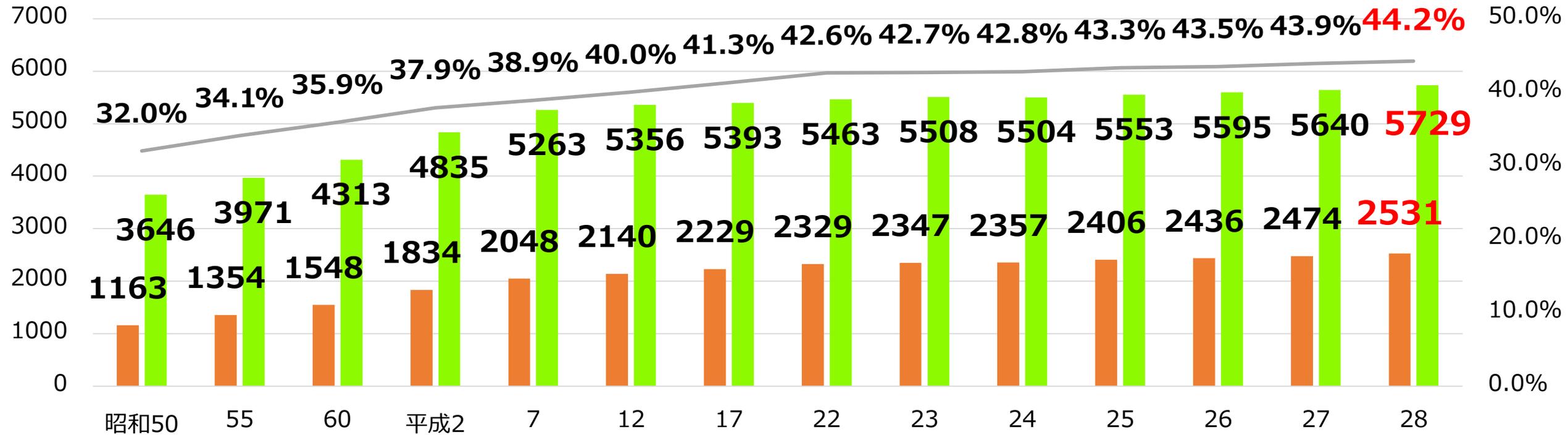
女性の活躍促進

女性の「する」
「みる」「ささえ
る」スポーツへの
参加を促進するた
めの環境を整備す
ることにより、**スポーツ**
を通じた女性の
社会参画・活躍を
促進する。

背景

雇用者数の推移

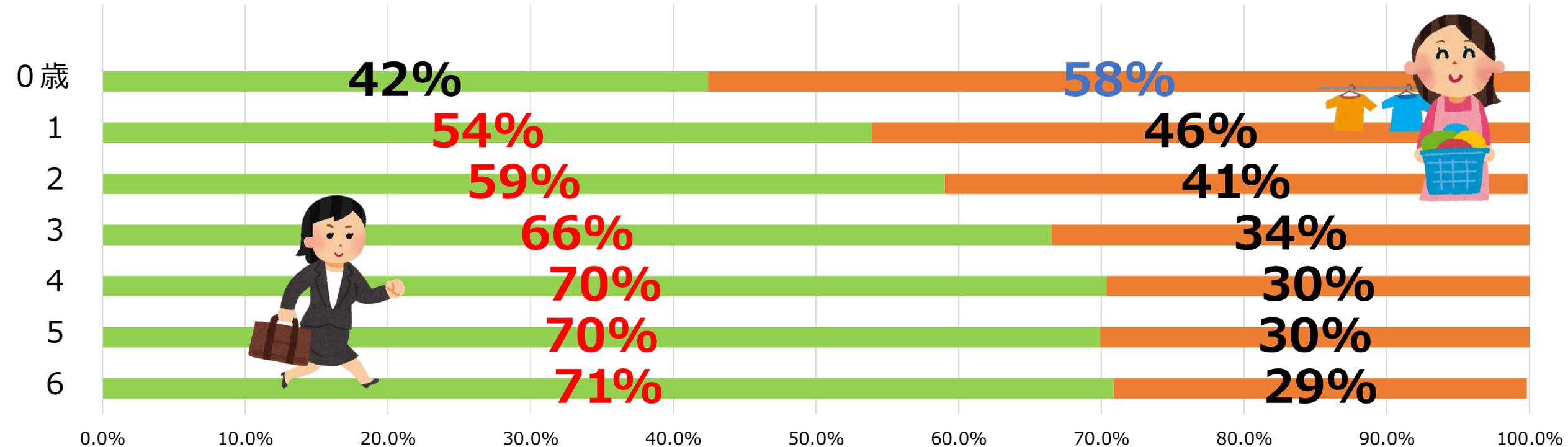
(万人)



女性の雇用者が年々上昇しており
女性が働くというのは珍しくない社会になっている。

背景

末子の年齢階級別にみた母の仕事の状況



半数以上の母親が
子どもを持ちながら仕事を行なっている。

社会的背景

労働力調査

女性とスポーツの背景

スポーツ実施率

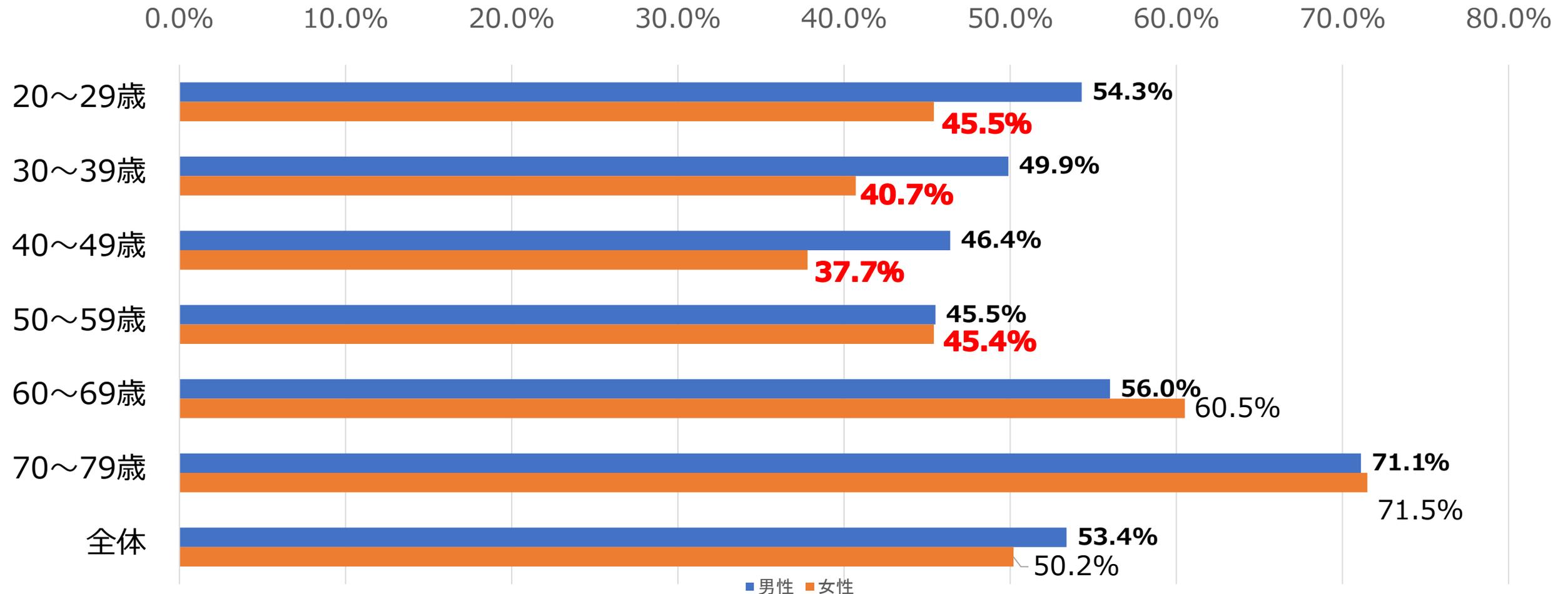
母親のスポーツ実施率向上

仕事をしている

ヒンズイ・無関心層へのアプローチ

女性のスポーツ実施率

世代別週1回以上スポーツ実施率の比較



■男性 ■女性

出典: スポーツの実施状況等に関する世論調査(平成29⁹年度)

背景

スポーツの阻害要因（女性）

運動・スポーツの実施阻害要因 Q19. 子供に手がかかるから

年代 (女性)	20代	30代	40代	50代
割合 (15項目)	19.0 (4位)	32.0 (3位)	13.5 (3位)	1.1 (15位)



出典:スポーツ実施状況等に関する世論調査

20代～40代までの女性が高い割合で回答しているため、女性がスポーツを実施できない大きな要因の1つになっている。つまり、**子供を持つ母親がスポーツを行えていない**。また、最も子どもに手がかかる時期は**乳児期・幼児期**であると考えた。

乳児・幼児を持つ母親



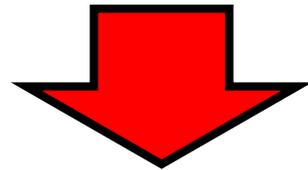
保育園

幼稚園



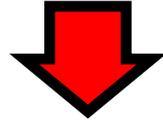
母親に向けた
新たなスポーツ環境を創出する必要がある

本研究の目的



**保育園児をもつ母親の
ニーズをアンケート調査し、
その結果に基づいて母親に向けたスポーツ
活動を促進するための新規事業を提案する**

背景（社会的・女性とスポーツ）



研究方法・結果及び考察



提言・まとめ

研究方法

先行研究

新規事業を提案する際の種目や運営体制の参考にするため

アンケート調査

M市調査データの二次分析

女性のスポーツ実施率の現状と阻害要因を把握するため

母親の現状・ニーズ調査

母親の現状と希望する日時や種目などのニーズを明らかにするため

先行研究

ア. 育児期女性の運動・スポーツ実施を阻害する要因 (宮崎,2002)

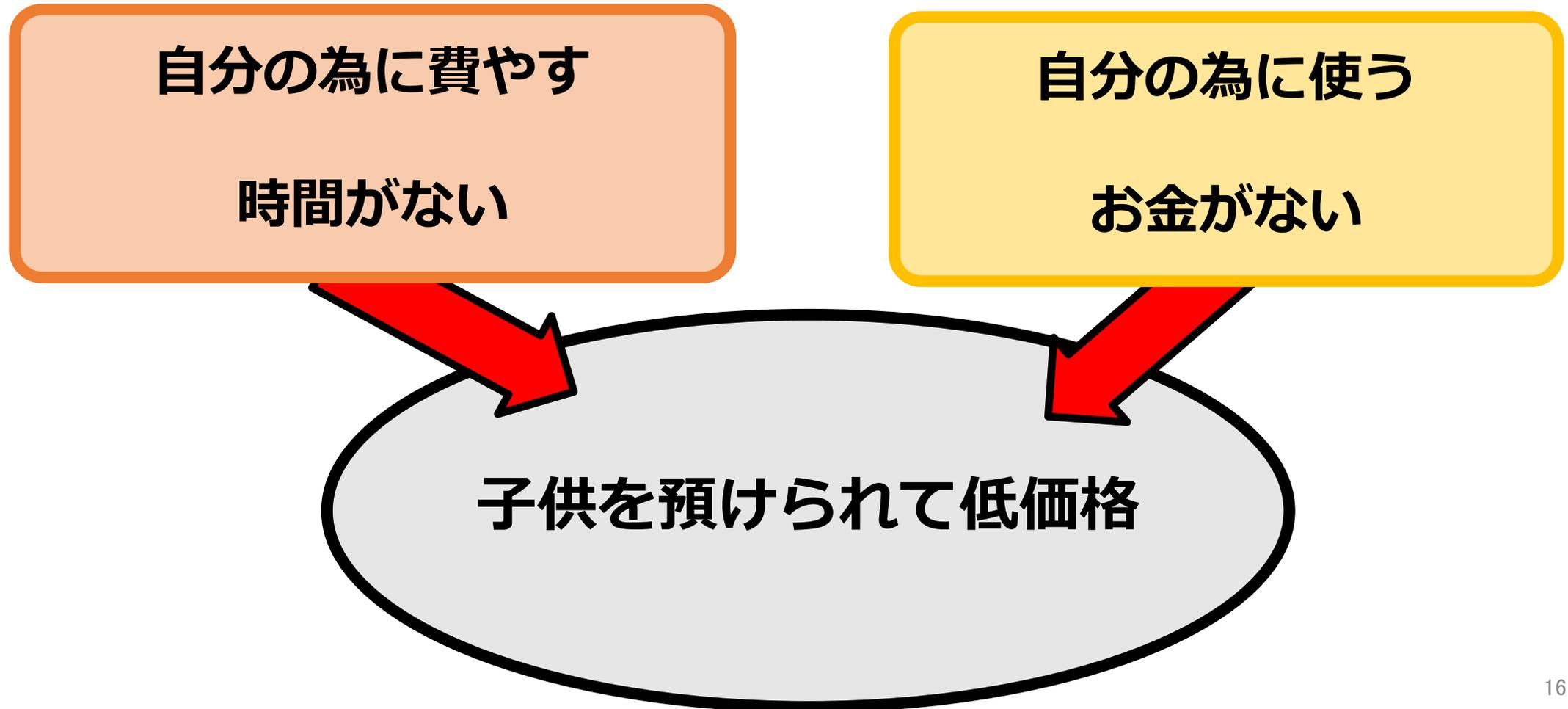
一緒に行く仲間や
友人がいない

体力に自信がない

身近なコミュニティで
気軽にできる機会

先行研究

イ. 幼児をもつ母親の子育てによる心理的行動的变化 (森下, 2016)



アンケート調査概要

M市調査データの二次分析

目的

**女性のスポーツ実施率の現状と
阻害要因を把握**

方法

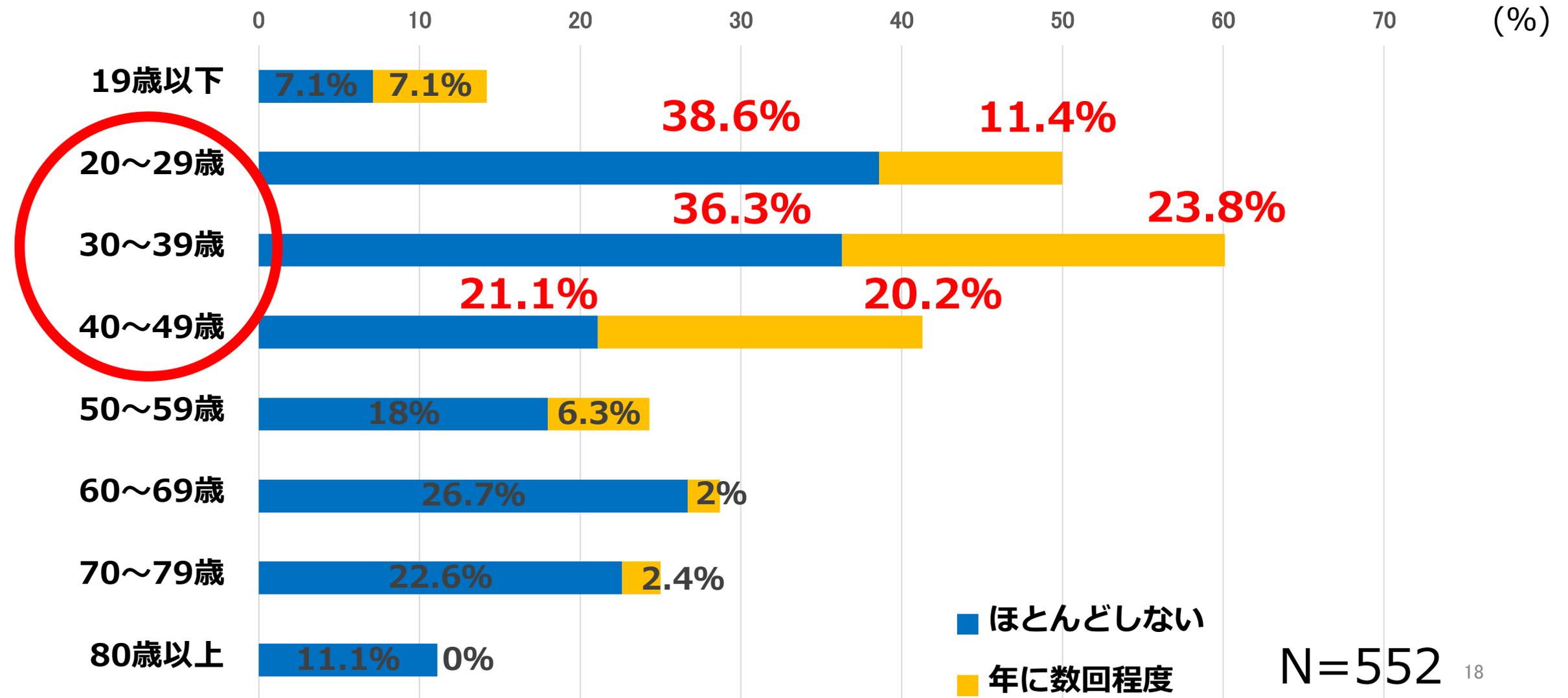
**18歳以上のM市民を住民台帳から
無作為に抽出**

回収数

721（回収率：45.1%）

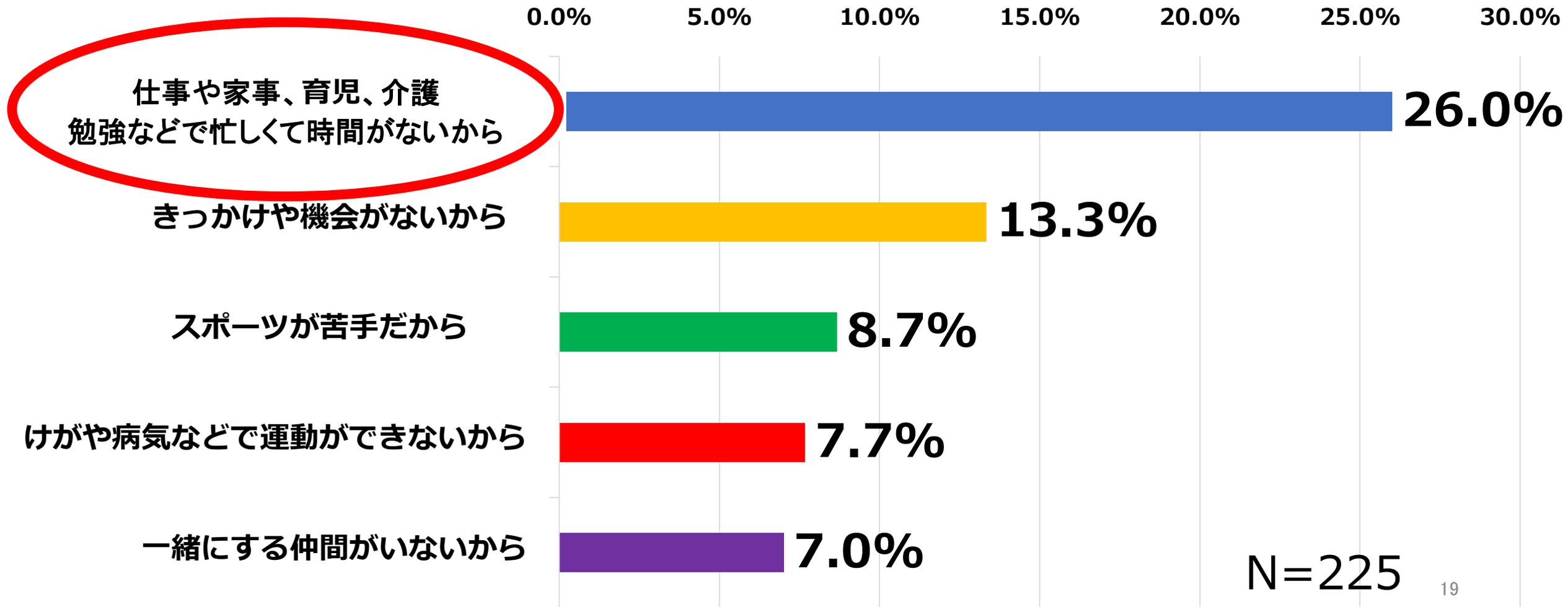
M市調査データの二次分析

① 女性のスポーツ実施率



M市調査データの二次分析

② M市20～40代女性のスポーツ実施阻害要因（上位5つ）



M市調査データの二次分析のまとめ

20~40代
スポーツ実施率

低い



阻害要因

仕事・育児



アンケート調査概要

M市内の保育園児をもつ母親の現状・ニーズ調査

目的

**母親のスポーツに関する現状と
希望する日時や種目などのニーズを把握**

期間

2018年9月5日～2018年9月14日

対象

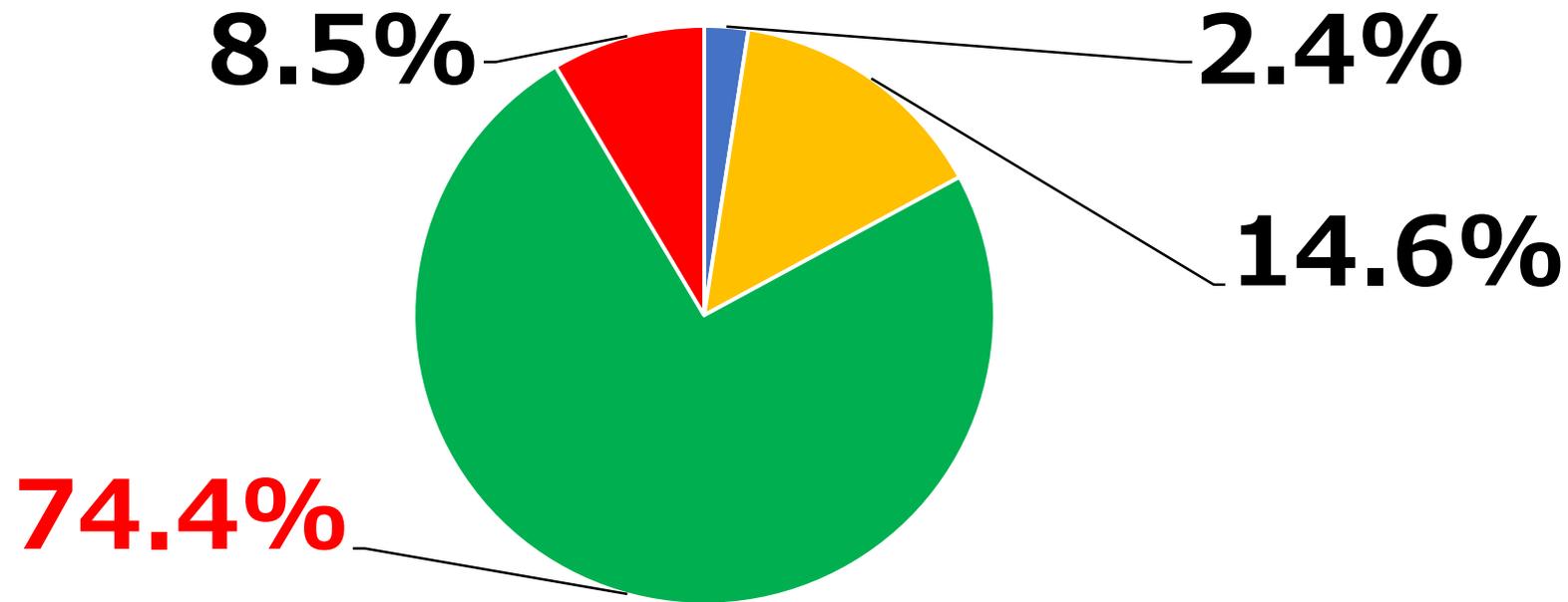
**依頼数：21園
M市内の公立保育園4園・私立保育園2園計6園**

回収数

167（回収率：32.8%）

母親の現状・ニーズ調査

①スポーツを行いたいと思いますか？

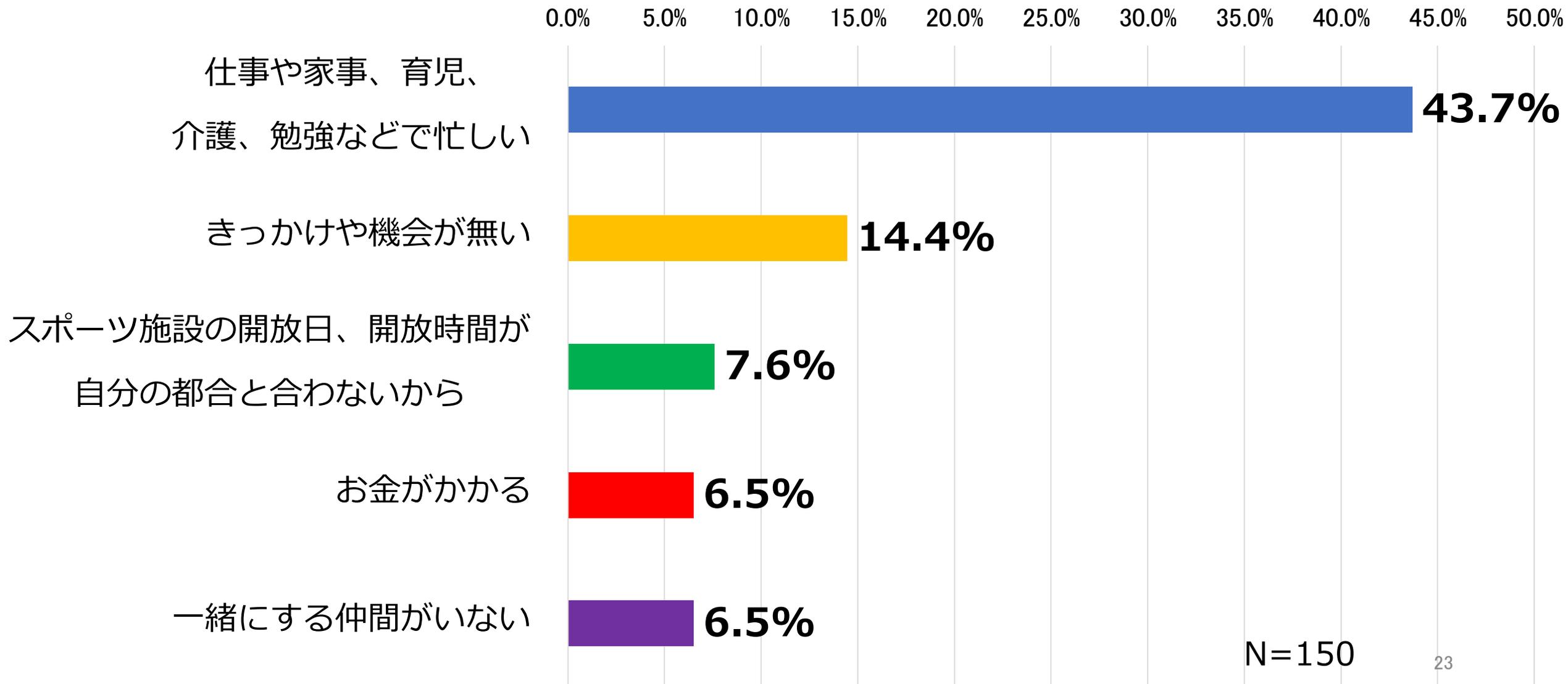


- 今も運動・スポーツを十分にできている
- 今も運動・スポーツを十分にしてるができればもっとしたい
- 今は運動・スポーツをしていないができればしたい
- 今は運動・スポーツをしていないし、これからはしたいとは思わない

N=164

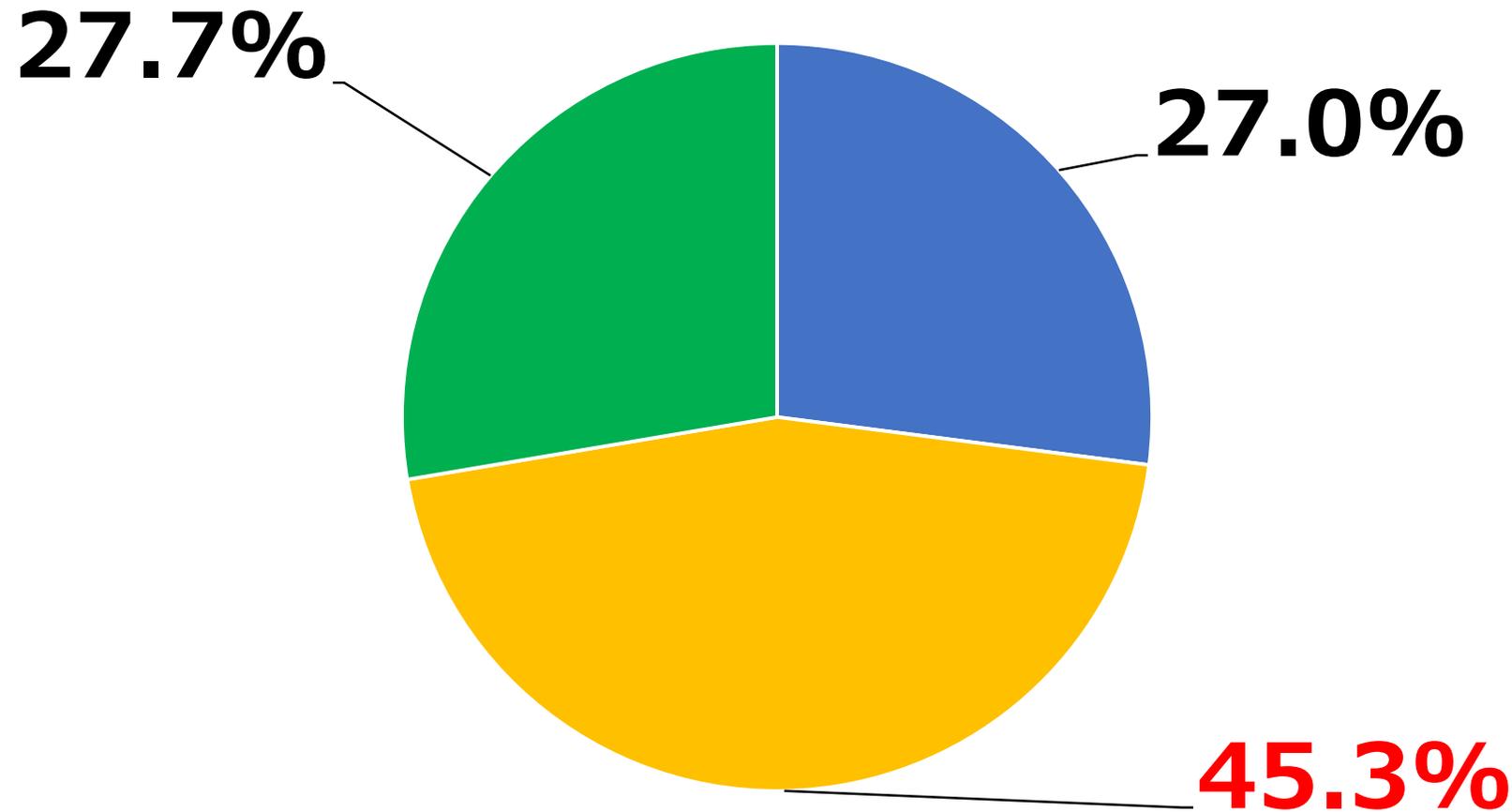
母親の現状・ニーズ調査

②スポーツができない理由は何ですか？（上位5つ）



母親の現状・ニーズ調査

③ スポーツを行うなら平日と休日のどちらが良いか？

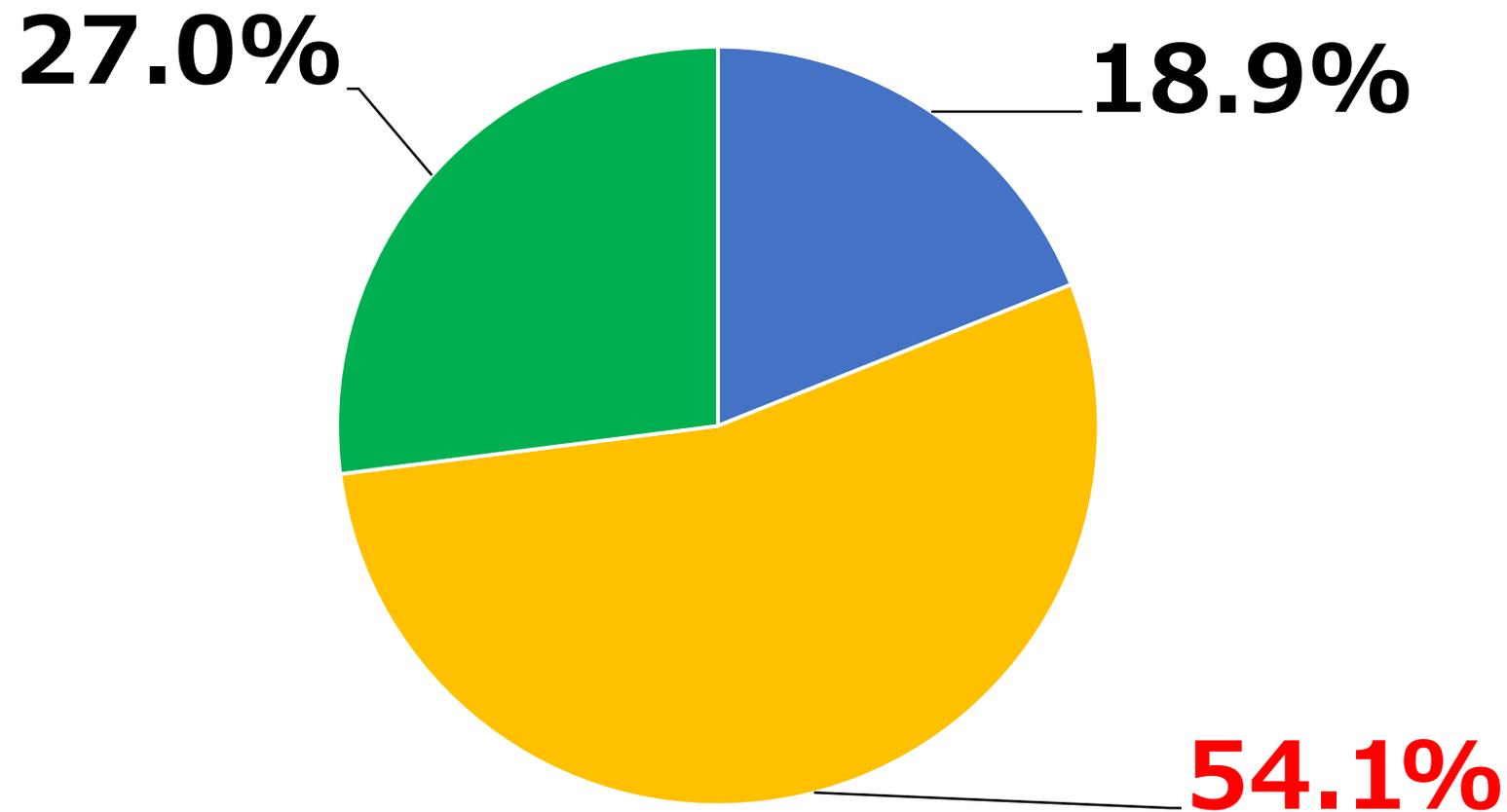


■ 平日 ■ 休日 ■ どちらともいえない

N=159

母親の現状・ニーズ調査

④ 休日にスポーツをするなら子供と一緒にが良いか、一人が良いか？

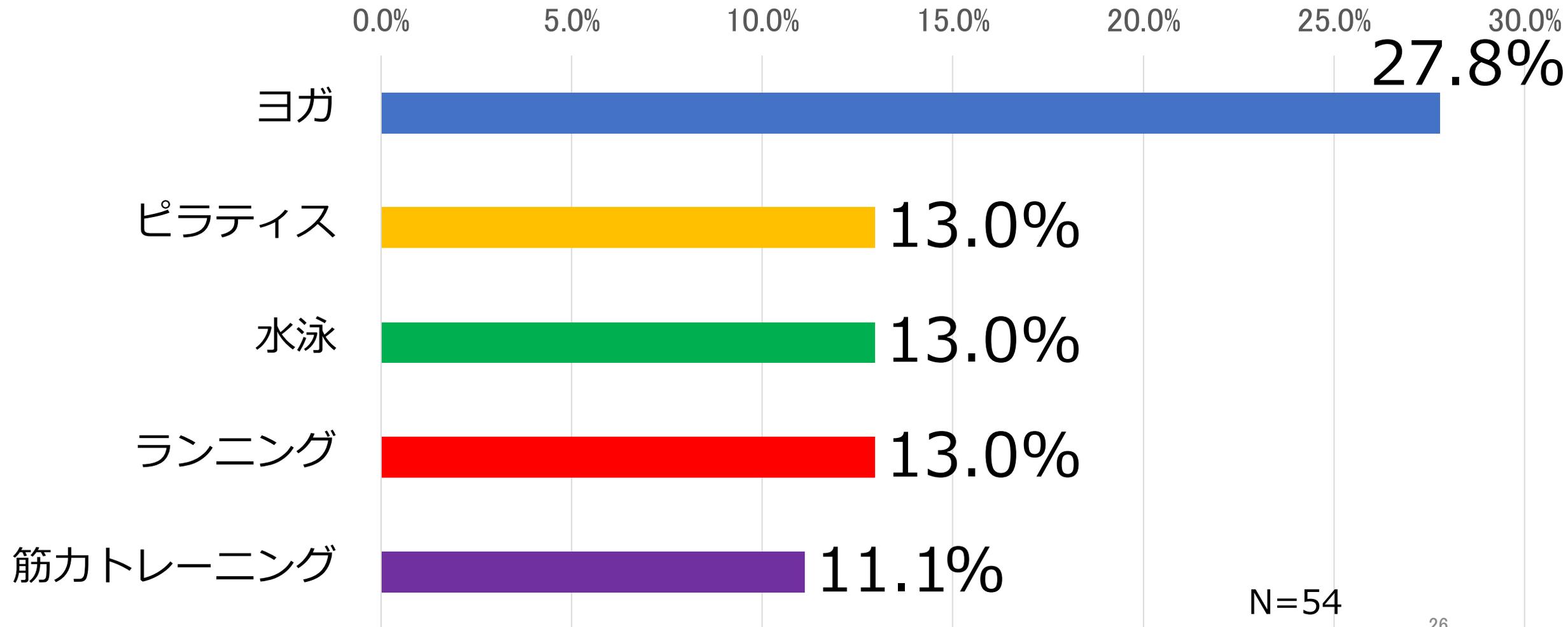


■ 子どもと一緒に ■ 一人で ■ どちらでもよい

N = 37

母親の現状・ニーズ調査

⑤ 休日にどのような種目を行いたいですか？



母親の現状・ニーズ調査のまとめ

スポーツを
行いたい



阻害要因
家事・育児
きつかけ・場所・
お金・仲間



スポーツ実施日
休日

子供と一緒にではなく
1人で

種目
気軽に

M市調査データの二次分析

ほとんどしない・年に数回程度

- ・ 20～29歳 **50.0%** 30～39歳 **60.1%** 40～49歳 **41.3%**

母親の現状・ニーズ調査

- ・ 今は運動・スポーツをしていないができればしたい **74.4%**
- ・ 今も運動・スポーツが十分にできている **2.4%**

ターゲットは保育園ママ

考察 ② 阻害要因

1位 仕事、家事、育児で忙しい

- 同年代女性に比べて、スポーツを実施するのは難しい
- 休日を望んでいる人が多い

2位 きっかけ

- 身近な場所で開催することで参加が見込まれる

休日に身近な場所で

考察③一人で参加したい

M市調査データの二次分析

- **自分の時間がない**

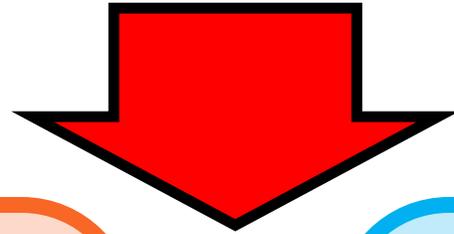
母親の現状・ニーズ調査

- **子どもと一緒にではなく一人で行いたい**

自分の時間でスポーツがしたい

考察のまとめ

考察① 母親はやりたくてもできない人が多い



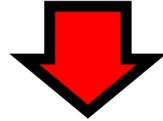
考察②

- 休日に
- 身近な場所で

考察③

子どもと一緒に
ではなく一人で

背景（社会的・女性とスポーツ）



研究方法・結果及び考察



提言・まとめ

運動する

ママの

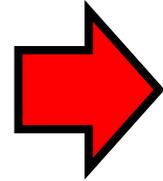
日曜日！


Sports


Mama

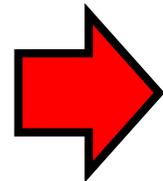

Sunday

① 日曜日



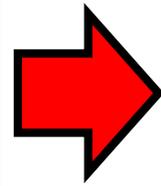
- ・ 母親は休日なら平日に比べて忙しくない
- ・ 土曜保育のところがある

② 保育園開催



- ・ 最も身近な場所である
- ・ 保育園は日曜日稼働していないため有効活用

③ 1人で参加



- ・プログラム中の託児
- ・自分のための時間
- ・子供のことを考えずに安心してスポーツできる



開催場所

M市内の公立保育園
(4園)

曜日

毎週日曜日



種目

室内ではヨガ
園庭ではピラティス



- ニーズ調査当事者の人気 1 位、 2 位
- 気軽に取り組める
- 母親は忙しいため普段の疲れを取り除き
リラックスできる空間を作ることができる

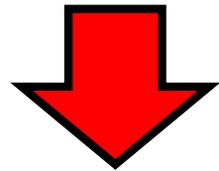
対象

保育園児をもつ母親とその子供



**子供が通っている園以外でも参加可
(普段市立保育園に通っている方など)**

Sports Mama Sunday



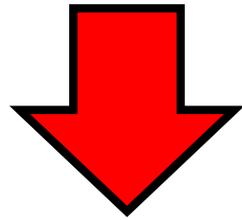
3つの効果

子育て世代の スポーツ実施率向上



期待される効果②

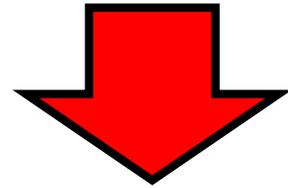
地域の母親同士が交流



ママさんバレーボールチーム
地域のスポーツイベント
持続的なスポーツ実施につながる

期待される効果③

身近な保育園で開催



運動する場所・環境ができる

まとめ

効果①

スポーツ実施率の向上



効果②

母親同士の交流が活性化



効果③

運動する場所と環境の確保



参考文献

- 厚生労働省（2017）「国民生活基礎調査」
- スポーツ庁（2017）「スポーツの実施状況等に関する世論調査（平成29年11～12月調・査）」
- スポーツ庁（2017）「第二期スポーツ基本計画」
- スポーツ庁健康スポーツ課（2016）「スポーツの実施状況等に関する世論調査」
- 総務省統計局（2017）「労働力調査」
- 東京都（2017）「スポーツ実施率向上に向けた世代別のスポーツ振興施策について」
- 濱田 翔吾（2011）「スポーツ実施に関連する促進・阻害要因 —20-30 歳代に着目して—」
- 宮崎千枝（2002）「育児期女性の運動・スポーツ実施を阻害する要因」
- 武蔵野市教育委員会（2015）「武蔵野市スポーツについてのアンケート調査報告書」
- 森下順子（2006）「幼児をもつ母親の子育てによる心理的行動的变化」

ご清聴ありがとうございました